

発行/中野島地区社会福祉協議会
川崎市多摩区登戸1891
第3井出ビル3階
福祉パル多摩内
地域課:電話:935-5500
FAX:911-8119
発行人/田村 弘志
編集人/総務部



中野島地区社協のテーマ
この地域
誰もが暮らしやすい
中野島・布田

この広報紙は、皆様からの
会費で作られています

2025.1.15 No.48 (年2回発行)

令和6年度(第19回)中野島地区社会福祉のつどいが開催されました

「第19回社会福祉のつどい」が令和6年12月7日(土)中野島小学校アリーナにおいて開催されました。12月ではありましたが暖かく好天に恵まれ、老若男女・幼児からお年寄りまで多くの方々に集っていただくことが出来ました。

第1部式典は、佐藤ミチ子副会長の開会のことばに始まり田村弘志会長の挨拶、続いて来賓22名を代表して多摩区役所地域みまもり支援センター所長武田克己氏、多摩区社会福祉協議会会長大澤敏夫氏、会場校の中野島小学校校長今広道先生の3名の方々にご挨拶をいただきました。



第2部演芸は、中野島中学校吹奏楽部によるジャンボリミッキーのお兄さんお姉さんが元氣よく登場し、明るく楽しい演奏から始まりました。地域保育園児のかわいいダンス、元氣な太鼓演奏、一輪車の華麗な演技などに会場は一体となっていきました。各団体の踊り・歌・ダンス・演奏・演舞など、日頃の練習の成果が披露されました。演技し終えた方々の顔には安堵感と微笑みがあふれていました。最終演目は中野島小学校PTAコー

社会福祉のつどい写真集(1)



ラス部の素晴らしい合唱でした。次回開催にも届け!と願いを込めて参加者も一緒に口ずさんでいました。

すべてのプログラムが終わり一柳宗義副会長による閉会のことばで終了しました。本会にご協力いただいたみなさまに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

日頃より、中野島地区社会福祉協議会の地域福祉活動に、ご理解とご支援を頂き誠にありがたく感謝申し上げます。世界各地で福祉とは真逆の紛争があり、多くの犠牲が報告されています。このような中で私たちの地域が一つとなり、この平和が永遠に続くように努力し、築き上げていきたいと切に願っています。幼児からお年寄りまで全住民が集い、日頃の演技の、練習の成果を披露していただき、楽しいひとときを持つことが出来ることは大変素晴らしいことです。この「社会福祉のつどい」を今年も開催できたことを感謝いたします。

2024年12月7日
中野島地区社会福祉協議会 会長 田村 弘志

プログラム

- 1 吹奏楽演奏 中野島中学校
①ジャンボリミッキー
②風になりたい
2 遊戯 ハグミー・ナーサリー
できっこないをやらなくちゃ
3 フラッグ 中野島のほら保育園
ダンスホール
4 一輪車演技 JUA中野島一輪車クラブ
①優しい気持ちで
②君をのせて
5 太鼓 中野島フレンズ保育園
かかやいばやし
6 踊り いこいの家舞踏会
郡上ぼんぼり
7 フルート ルトアガガル ブーケ
①君をのせて
②ラデキキ一行進曲
8 フォークダンス いこいの家フォークダンス
①ノイスパーニア
②タールオクセン
9 太極拳 ハイムクラブ 朝の太極拳コスモス
武闘天
10 踊り ひまわり会(第1)
伊太田式やし
11 踊り 中野島第一親生会
島のブルース
12 ダンス なごみ福祉会 多摩川あゆ工房
①ロックソーラン
②ドラえもん(聖野 源)
13 歌 人生楽会
①海鳴り列車
②鳥羽の海女
14 踊り 中野島寿楽会
皆の衆
15 フラダンス 中野島フラダンスA
ハラニ・ホルス
16 フラダンス 中野島フラダンスB
マクマウケアラ
17 民謡 民謡の会
①米節
②山形大黒毎
18 フォークダンス 長寿会
①ラ・クナルシエータ
②ラ・スカラッチャ
19 コーラス 中野島第二親生会
①浜千鳥
②二輪草
20 銭太鼓 喜楽会
①大山こまつり唄
②花笠音頭
21 合唱 中野島寿楽会
江差馬子唄
22 太極拳 いこいの家太極拳
大樹
23 合唱 中野島小学校PTAコーラス部
①トランペット吹きながら
②涙を越えて
③珊瑚色の地球

中野島のこんな事知っていますか
田村 弘志

戦時中の食料事情
多摩川の土手は心をわくわくさせる楽しい場所でした。春にはヨモギ、スカンボ、スイバ、ツバナなど、みな食べられる野草です。...

大きな90センチ×1m80センチ位の鉄板に、深さ20センチ位の木の枠を付け、深さ10センチ位の木の板を挿し、下から火を焚き、葉を揉んで乾燥させるお茶製法を造りだしました。...

稲田中野島民生委員児童委員協議会だより

私たち民生委員児童委員に課せられている期待の一つは、地域の皆さんとともに住みやすい安心して暮らせる町づくりに貢献することだと思います。

そのための活動として、令和6年4月に行われた年次総会で従来の諸活動に加え、中野島・布田地域の諸機関と連携を深め、互いに力を合わせ足らざるを補い合っていけるよう交流することを約しました。

まず、地域で最も要となる中野島町会との意見交換会を8月に実施。佐藤新会長ほか、役員の方々と種々協議しました。令和7年12月に迫った民生委員児童委員の一斉改選の進め方、それに伴う人選の難しさについてであったり、災害時における要援護者への対応の原則確認など、直面する課題について話し合いました。

9月の稲田中野島民生委員児童委員協議会の定例会には、多摩川の里地域包括支援センターの職員の方々にお越しいただき、特に困難をかかえる高齢者への対応について資料にもとづき説明していただきました。ケアマネージャーさんの役割や介護保険の使い方等、基本から学ぶことができました。全体的なお話の後、3グループに分かれて個別に相談に乗っていただきました。

次に、障害者施設について知見を深める機会をもっていきたくと考えています。私たち民生委員児童委員は、困りごと・悩みごとをかかえる地域の皆さんを、それに対応してもらえる機関に結び付けるつなぎ役としての使命を果たしていけるよう研鑽に励み、任を全うできるよう精進してまいります。



暮らしやすい地域づくりへの一言
下布田小学校 校長 富谷 千春

子どもが暮らしやすい地域づくり
下布田小学校の学校教育目標の中に「地域とともに歩む学校づくり」があります。学校と地域社会が共に力を合わせて学校教育を創り上げ、子ども達を育てていくことが大切だと考えています。今年度も下布田小学校の特色を生かしながら、地域の方々と関わることで、地域と協働しながら豊かな学びをつくる学校を目指し、その実現に向けて取り組んでいるところです。...

Advertisement for '松陰塾' (Matsuyama Juku) featuring '完全個別' (Complete Individual) and '通い放題の塾' (Unlimited Attendance Tutoring) with a list of 3 rules and contact information.

### 心のいやしコンサート 福祉部

10月31日、前日からの雨も上がり、秋らしい清々しさの中、恒例の「心のいやしコンサート」が開催されました。来場者は凡そ80名で、昨年同様の賑わいとなりました。

一部は「百歳時代を元気に過ごそう」と題して、介護予防運動スペシャリスト毛利氏、柏崎氏、亀井氏による指導で

- ①高齢者の健康の話
- ②シルバー川柳
- ③健康体操と歌体操
- ④脳トレ・指体操
- ⑤みんなで歌おう
- ⑥長生きソング



で構成されたメニューに添い指導いただき楽しく心身をリフレッシュすることができました。

二部は「芸術村あすなろ」のメンバー8人によるミニコンサートで構成は

- ①ピアノ・ヴァイオリン・チェロによる演奏でいずれ

も有名で聞きなれたロマンチックなエルガーの「愛の挨拶」・モンティの「チャルダッシュ」・久石譲の「くりびと」より「メモリー」の生演奏を堪能しました。

②みんなで歌おうと題し「もみじ」・「あかとんぼ」ソプラノの二女子の美声が狭い空間によく響きわたりました。

③ピアノによるソロ・連弾は「人形の夢と目覚め」「タイプライター」と聞きなれた選曲となっており、タイプライターは本物に変え太鼓を使用した面白いアレンジとなっております。

④オペラより有名な二曲ブッチーニ「私のお父さん」ソプラノソロとヴェルディ「乾杯の歌」の合唱

⑤フィナーレは来場者と一緒に「花は咲く」の合唱で終了となりました。

今年もまた出演者のご協力のおかげでレベルの高い催しができたと感謝いたしております。



### 子育ておしゃべり会 青少年幼児部

令和6年11月5日に、中野島会館和室で、青少年幼児部主催の「子育ておしゃべり会」が開催されました。この会は、就学前のお子さんがある保護者を対象に、子育て中のちょっとした悩みや実際に感じていることをおしゃべりしたり、お子さんとふれあい遊びをしたりしながら、部員とともに楽しむ企画です。昨年度と同じく「中野島のはら保育園」の住吉久枝園長先生と、「かわさきさくら児童家庭支援センター」の臨床心理士金子真理先生にご協力いただきました。



「子どもの健康管理のためには『食う・寝る・出す』が大切で、そのためには『運動』が重要。赤ちゃんの場合はお腹をさすってあげたり、足を動かしてあげたりするだ

けでも運動になる」「子育てをしているとき、他のお子さんとは比べがちだが、昨日の我が子と今日の我が子を比べるようにし、なるべく褒めてあげる。子どもが失敗をしても、別の角度から褒め、『自分の気持ちをわかってくれる人がいるんだ』と、子どもにも思ってもらえるようにする」このようなたくさんのアドバイスを先生方からいただきました。

お話を聞いている間、数名のお子さんは保護者から離れ、部員と楽しく遊ぶことができ、保護者の方からは「人と話す時間があまりないので、子どもを見ていただき久々にリラックスできた」「先生の言葉に励まされた」といった感想をいただきました。いざという時に頼れる場所がある、と子育て中の方に思っただけのような活動を今後も続けていきたいと考えています。



### BAR BARの聞きかじり③ 塚本 健治

以前、中野島には「中野島商店会」「北口通り商店会」「中央通り商店会」「仲道通り商店会」の4つの商店会がありました。現在では「中野島商店会」と「北口通り商店会」の2つになっています。



私が子どもの頃は、各商店会も活気があり色々な催し物(のど自慢大会、バザー大売出し)があり楽しかった記憶があります。私のお店(カットインジョリー)の通りから二ヶ領用水橋本橋の先まで、「仲道通り商店会」がありました。生田に「スーパーいなげや」ができるまでは肉

屋、魚屋、八百屋、酒屋、乾物屋、薬局、お茶屋があり活気がありました。

昭和50年代に入ると、駅から離れたのと通りが暗いと言う理由で、街路灯を各店舗の前に設置する為に会を作ったそうです。店の前は明るくなり、当時は水銀灯で夏になるとよくカブトムシが飛んできました。今では会も解散して「中野島商店会」と合併になりました。中野島も商店が少しずつ減りつつも、みんなで力を合わせて祭り、ナイトバザー、イルミネーションなど開催しています。

小さな町ですが温かみがある素敵な町だと思います。



### 社会福祉のつどい写真集(2)

### 令和6年度理事研修会 障がい福祉サービス事業所「ひとと」見学会

7月24日、市営中野島団地に隣接した障がい福祉サービス事業所「ひとと」を訪問しました。世田谷区と川崎市で保育事業と障がい者事業を展開しているなごみ福祉会が運営しています。中野島では「多摩川あゆ工房」「なごみ学童ホール」は皆さんもご存じの方が多いと思います。市営中野島団地の建て替えにあたり、川崎市の公募に応募され、4月の開所に至っているそうです。今回、お忙しい中、快くデイサービスの見学を受けて頂きました。



まず1階の食堂にて、鈴木施設長から事業所の説明を伺いました。現在、数名の知的障がいをお持ちの方が通われていますが、今後は身体障がい者の方も通われる予定だそうです。利用できるのは、特別支援学校を卒業されている方、一般の就労が難しい方々です。今年、定員20名(生活介護10名、就労継続支援B型10名)としていますが、数年かけて徐々に増やしていき定員40名(生活介護30名、就労継続支援B型10名)を目指しているそうです。

説明の後、鈴木施設長と千頭職員の案内で館内を見学しました。生活介護では、施設内で創作活動等の物作りや音楽・体操・散歩などの体を動かす活動が中心となります。主に3階フロアが生活支援フロアになっていて、運動プログラムや音楽プログラム、身体を使ったアートプログラムが出来る開放的なスペースがあります。他

に作業訓練室や静養室、シャワー室、リネン室が備わっています。就労継続支援では、現在、グループホームへの配食、清掃活動、買い物等の室外作業などの活動が中心となっています。「生産活動」を行い、その対価として「工賃」を受け取るそうです。主に2階フロアが就労支援フロアになっていて、10名の方が入れる作業訓練室や相談室、更衣室、多目的室などがあります。訪問させて頂いた日は、とても暑い日でしたが、すでに皆さん活動のため、外出されていました。

1階には、食堂の他に厨房と作業訓練室があります。この作業訓練室は厨房設備が整えば調理活動が出来るような設計になっているそうです。今後、地域の方と交流できるようなスペースになることを願っています。既に中野島町会では、清掃をお願いしていますが、丁寧で礼儀正しいと評判です。川崎市からの依頼もきているそうです。そして、物作りの作品等は月に一度、施設入口で販売会(焼き菓子・お花・自主製品)を行っています。ポストにちらしが届いていたので早速、販売会に顔を出し、焼き菓子としおりを購入させて頂きました。今回の参加者からは、地域の施設を見学し、詳しい説明が聞けて大変良かった。地域住民として障がいを持つ方に対する理解をもっと深めることが大切だと思いました。など有意義な見学会だったとの声が寄せられました。「ひとと」職員の皆様には、貴重なお時間を頂きましてありがとうございました。